プロジェクトとはなにかあげていくと，「成果物」がある，「目標と目的」がある，「始まりと終わり」がある，「独自性」がある．という感じなのですが，定常業務とはなにか，これは，今挙げた性格を持たない仕事です．成果物？ない！目標と目的？ない！始まりと終わり？ない！終わりがないのが終わり！独自性？ない！どういう事かというと，プロジェクトは「明確な終わりと始まりがある」という「有期性」と「創りだされる成果物は唯一無二である」という「独自性」と性格があるが，定常業務では，組織が設けられて，継続的に行われるため有期性がない．そして，作業手順が決められており，同じ作業が繰り返し行われる．そのため，独自性もない．というものです．

次は，大量生産・連続生産のマネジメントを概観する．これらが大体どんな感じか把握するってことですね．大量生産は皆さん知っての通り1つの製品を沢山作ること．連続生産は1つの製品を一定期間連続して生産することです．これは1941年にフォード生産方式という原型が完成され，最先端にトヨタ生産方式．別名リーン生産方式があります．これらフォード生産方式に始まる一連の製造方式を別名ベルトコンベア方式と呼ばれ，それがどういうものかこれから説明します．たとえば，1台の車を作る時に人や資材をいちいち移動させてハンドル取り付けて，ドア取り付けて，とやるのではなく，ベルトコンベアの脇に人が立ち，ハンドル担当はハンドルを，ドア担当はドアを，さらにハンドルを軸の上に置くもの，ネジを絞めるものなどなど，作業を細分化し，それぞれが同じ仕事を繰り返し実施することで，ベルトコンベアの終端に至る時には車が完成している！という仕組みである．ちなみにこれ，前のスライドで説明定常業務そのものですね．この方式のデメリットとして，同じ作業を繰り返す，最終成果物が見えない仕事のため労働意欲の減退を招くという問題があったが，メリットとして，徹底的な作業の細分化，単純化とマニュアル化によって，熟練工を要せずとも高品質な車を，大量かつ連続的に生産することに成功するという大きなメリットがありました．

最後に，演習問題です．プロジェクトの作業の難しさを定常業務との違いから説明しなさいということなのですが．これは，不確実性を考慮する必要があるということです．難しく言っていますが簡単に言うと「リスクを考えろ」ってことです．定常業務ならマニュアル通りに作業するだけでリスクを考える必要はないですが，プロジェクトではリスクは常にどんな時も付き物です．例えば，〇〇という製品を組み立てたい！よし熟練工であるA君どこだ？え！？逃げた！？夜逃げ！？なんてことがしょっちゅうです．そのために代わりのB～Z君を用意するというようなリスク対策が必要です．